

# 校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年5月1日 NO.5

## 校長先生の出前授業

4月26日（金）1・2時間目に、校長先生が6年1組の児童を対象に理科の出前授業を行いました。

まず始めに、校庭に出て裏庭に行き、いつものように草笛教室を行いました。何回か草笛教室をやっていて気がついたのですが、草笛には上級・中級・初級とあるようで今後詳しく紹介していきたいと思います。また、丸い葉っぱを探し、葉っぱのたいこ遊びもしました。上手にできる子、なかなか音の出ない子もいましたが、草木を実際に手にして遊ぶことは、自然に植物の特徴などに気付くことであり大きな意味があると思います。

次に今回の授業のためにビニル袋を一人一枚ずつ配布し、自由に自分のお気に入りの葉を7枚から10枚採集しました。その後、教室にて葉っぱのグループ分けを行いました。自分達で自由にグループ分けの観察観点を考える作業あたりから、子ども達も楽しく生き生きと活動し始めました。そして、子どもらしい自由な発想には、とても感心したくさん褒めてあげました。詳細は『国立てくてく』でその様子をお伝えしたいと思います。

なかなか音がでないぞ

この葉はこっちのグループ

## 農業体験

学校正門前に真っ黒な肥沃な畑があります。ここは、北島さんの農地であり、今年も無償でお借りすることができました。このように学校のすぐ近くにあり、農地として使用されている部分をお借りできることはとても嬉しいことです。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

昨年度まで5年生が中心となりお借りして農作物を育てていましたが、今年度より、全校児童で行うことになりました。子ども達に土と触れる楽しさ、食材は人々が育てるものであり、食に対する感謝を培うために大変意義のある教育活動であると思います。さらに地域の方々との交流も図られることも、地域への愛着をもつ意味で大変有効であると考えます。

先週26日（金）には、前農業委員長である関敏明さん、土地所有者の北島義昭さん、他にも支部長の関慎一さん、農業委員の北島薫さん・北島清春さん、地域農業者の鈴木政久さん・佐藤稔さんに来て頂き、畑の耕しやマルチはりや雑草除けシート貼りなどの作業をして頂きました。本当にありがとうございました。今後、学校での教育活動として計画的に実施していきたいと思っています。どうかよろしく願いいたします。

国立第七小 学校農園

約170坪もあるそうです